

SetAPP三相パワーコンディショナ

RS485サージ保護基板設置ガイド

このガイドでは、ソーラーエッジ三相パワーコンディショナにRS485サージ保護基板を追加設置する方法について説明します。

サージ保護デバイスについての詳細は、以下にあるデータシートを参照してください。

https://www.solaredge.com/sites/default/files/se_spd_plug_in_for_rs485_3ph_setapp_ds.pdf



キットの内容物

接地線、6ピンコネクタ、RS485サージ保護基板とプラスチック製留め具

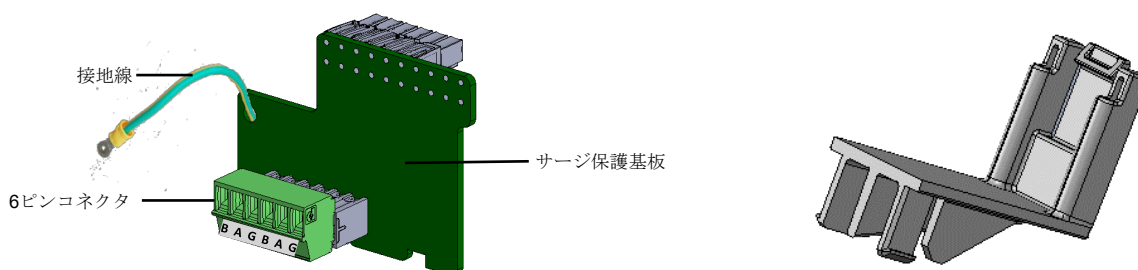


図1 : RS485サージ保護基板とプラスチック製留め具

設置手順

1. パワーコンディショナのON/OFF/PスイッチをOFFにします。コンデンサが放電するまで5分以上待ちます。
2. 配電盤のブレーカーをOFFにし、パワーコンディショナへのACの接続を切ります。
3. パワーコンディショナ本体カバーのねじを開け、カバーを取り外します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 新規にRS485接続を設置するには、6ピンコネクタをサージ保護基板から取り外し、RS485ワイヤを左側のG、A、およびB端子に接続します。

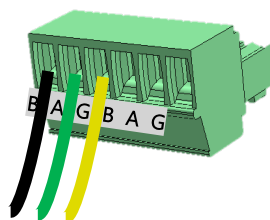


図2 : RS485ワイヤの接続

- RS485接続が既にパワーコンディショナに接続されている場合は、6ピンコネクタをパワーコンディショナの通信基板から取り外します（RS485ワイヤはそのままにします）。

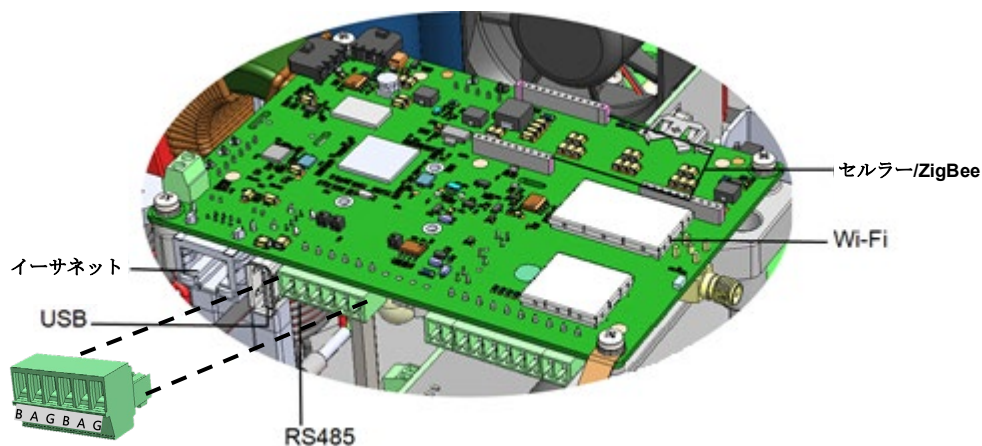


図 3 : 通信基板および6ピンコネクタ

5. プラスチック製留め具を、以下の図のように通信基板の底部に取り付けます。

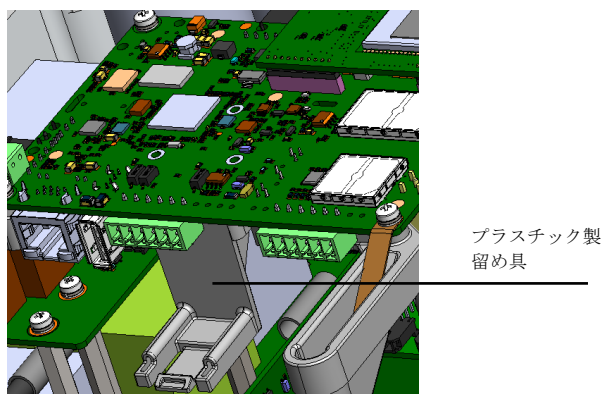


図4 : 通信ボードおよびプラスチック製留め具

6. RS485ワイヤ付き6ピンコネクタをサージ保護基板の通信入力ソケットに挿入します。
7. サージ保護基板のコネクタを通信基板に挿入し、軽く圧力をかけます。カードの下端にある溝が留め具のつまみをまたぐ位置にします。コネクタがしっかりと挿入されていることを確認します。

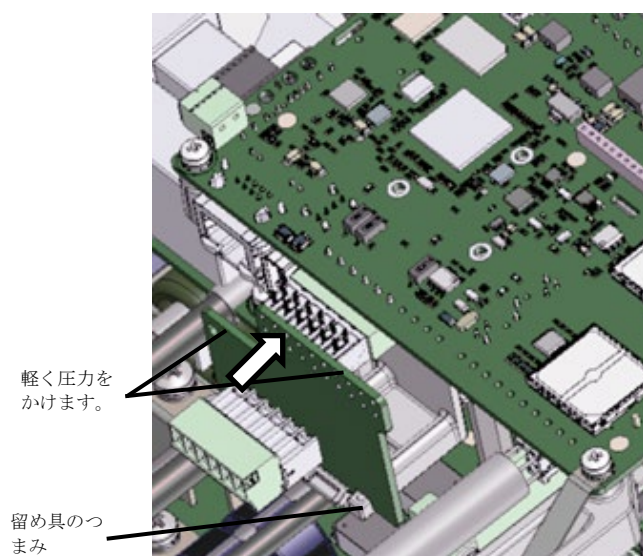


図5 : サージ保護基板の通信基板への取り付け

- 通信基板の接地ねじを取り外します（図 6 参照）。サージ保護基板の接地線にある丸形端子を所定の位置に置き、接地ねじでサージ保護基板の接地線を締め付けます（トルク1.1 N*m）。

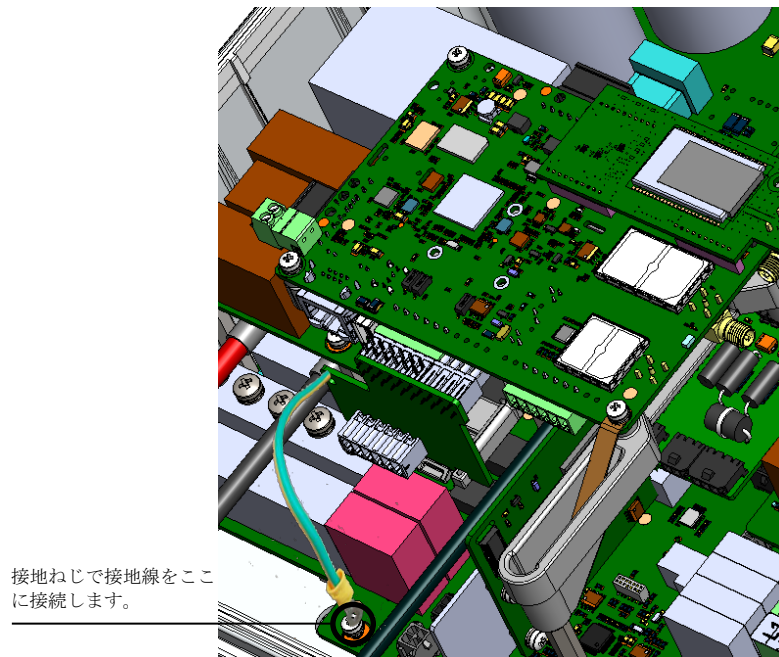


図 6 : 接地ねじ

- 6ピンコネクタをサージ保護基板に接続します。
- パワーコンディショナのカバーを閉じ、しっかりとネジ止めします。
- 配電盤のブレーカーをONにし、パワーコンディショナへACを接続します。
- パワーコンディショナのON/OFF/PスイッチをONにします。

以上